



第48回全国高等学校総合文化祭

清流の国ぎふ総文2024

集え青き春 漕ぎ出せ知の筏 水面煌々 清流の国へ

自然科学部門実施要領



大会マスコットキャラクター
ミナモ

開催期間：令和6年8月3日（土）～5日（月）

会場：岐阜協立大学

目次

大会概要	1
大会役員一覧・諸会議	2
審査委員紹介	3
式次第	4
生徒交流会	5
記念講演	5
発表・審査・表彰について	6
発表に関する留意事項	7
全校高等学校総合文化祭自然科学部門 審査および表彰規程	9
受付に関する留意事項、一般観覧について	11
おもてなし弁当に関する留意事項、救急体制	11
発表校一覧	12
発表プログラム	13
会場図	33
誘導・案内配置図	39
問い合わせ先	39
緊急時の対応などについて	40
個人情報の取扱いについて	45

大会概要

【第1日目】8/3(土) 12:00~18:30	
10:00~11:50	受付・弁当配付、研究発表動作確認、ポスター掲示 ※10:00以前の受付はできません。
10:00~	荷物置き場への入室開始
10:30~	研究発表会場・ポスター発表会場への入室開始
12:00~12:30	開会式
13:00~18:30	研究発表・ポスター発表
【第2日目】8/4(日) 9:00~18:00	
8:00~9:00	研究発表会場・ポスター発表会場への入室
9:00~11:40	研究発表・ポスター発表
11:00~12:00	弁当配付
13:00~18:00	巡検研修 ※終了時間はコースにより異なる(JR大垣駅解散)
【第3日目】8/5(月) 8:00~12:40	
8:00~8:30	受付・開場
8:45~9:45	生徒交流会・次年度開催県PR
9:45~10:00	休憩
10:00~11:15	記念講演会
11:15~11:30	休憩
11:30~12:40	表彰式・閉会式

内容	会場
受付・総合案内	3号館1階
荷物置き場	8/3:3号館3階(エレベーターまたは階段で移動) 8/5:3号館1階
開会式	7号館講堂(7101)(入口は1階、2階にあります)
研究発表 物理分野	A会場:6号館2階(6201)、B会場:8号館2階(8201)
研究発表 化学分野	A会場:5号館2階(5201)、B会場:4号館2階(4201)
研究発表 生物分野	A会場:5号館1階(5101)、B会場:4号館1階(4101)
研究発表 地学分野	A会場:6号館1階(6101)、B会場:6号館1階(6102)
ポスター発表	A会場:学生会館2階、B会場:学生会館3階
救護室	3号館2階(3212)
本部	3号館2階(3204)
昼食	研究発表 ポスター発表
	各発表会場 3号館3階(3311~3319)
巡検バス集合場所	北側23番駐車場の東側半分

【大会役員一覧】

公益社団法人 全国高等学校文化連盟正会員

高等学校文化連盟全国自然科学専門部

部会長	石塚 一哉	鹿児島県立錦江湾高等学校長
副部会長	佐藤 尚史	岐阜県立岐南工業高等学校長
副部会長	大熊 百恵	香川県立高松桜井高等学校長
副部会長	下橋 実	秋田県立角館高等学校長
事務局	大迫 武治	鹿児島県立錦江湾高等学校教諭

第48回全国高等学校総合文化祭 岐阜県実行委員会（自然科学部門）

部会長	佐藤 尚史	岐阜県立岐南工業高等学校長
代表委員	棚橋 誉久	岐阜県立岐阜高等学校教諭

【諸会議】

常任理事会

日時：令和6年8月2日（金）15:00～17:00

場所：岐阜協立大学（北方キャンパス）3号館2階3201教室

理事会・総会

日時：令和6年8月5日（月）9:00～12:00

場所：岐阜協立大学（北方キャンパス）6号館1階6102教室

審査委員紹介

審査委員長	瀨瀬 守	岐阜大学 教授	
研究発表	物理分野	毛利 哲也	岐阜大学 教授
		伊藤 貴司	岐阜大学 教授
		加藤 知之	(元) 岐阜県立岐山高等学校 校長
		高橋 博美	(元) 岐阜県立加納高等学校 校長
	化学分野	新田 高洋	岐阜大学 教授
		柳瀬 笑子	岐阜大学 教授
		園部 栄子	(元) 岐阜県立岐山高等学校 校長
		谷口 正明	(元) 岐阜県立関有知高等学校 校長
	生物分野	新美 輝幸	基礎生物学研究所 教授
		大場 裕一	中部大学 教授
		杉原 茂男	(元) 岐阜県博物館 館長
		鈴木 健	(元) 岐阜県立岐阜北高等学校 校長
	地学分野	大谷 具幸	岐阜大学 教授
		森本 真紀	岐阜大学 准教授
		下畑 五夫	(元) 岐阜県立斐太高等学校 校長
		西谷 徹	(元) 岐阜県立池田高等学校 校長
ポスター発表	宮坂 武志	岐阜大学 教授	
	櫻田 修	岐阜大学 教授	
	加藤 正吾	岐阜大学 准教授	
	小嶋 智	(元) 岐阜大学 教授	
	中道 洋友	北海道札幌啓成高等学校 教諭	
	西畑 栄子	智辯学園和歌山中学・高等学校 教諭	
	大沼 克彦	秋田県立大曲農業高等学校 教諭	
	岡村 典夫	茨城県立土浦第三高等学校 講師	

式次第

【開会式】 令和6年8月3日(土) 12:00~12:30 7号館講堂

1 開会宣言	棚橋 紅瑠 (生徒実行副委員長)
2 全国自然科学部門専門部会長挨拶	石塚 一哉 (鹿児島県立錦江湾高等学校長)
3 歓迎の言葉	石田 仁 (大垣市長)
4 生徒実行委員会委員長挨拶	井上 壱翔 (生徒実行委員長)
5 来賓・審査委員長紹介	青山 瑞希 (生徒実行委員)
6 閉会宣言	磯貝 駿介 (生徒実行副委員長)

【表彰式・閉会式】 令和6年8月5日(月) 11:30~12:40 7号館講堂

1 開会宣言	恩田 啓暉 (生徒実行副委員長)
2 審査結果発表	棚橋 誉久 (ぎふ総文 代表委員)
3 表彰	石塚 一哉 (鹿児島県立錦江湾高等学校長)
4 講評	瀨瀬 守 (審査委員長 岐阜大学教授)
5 全国自然科学専門部会長挨拶	石塚 一哉 (鹿児島県立錦江湾高等学校長)
6 ぎふ総文自然科学部門部会長挨拶	佐藤 尚史 (岐阜県立岐南工業高等学校長)
7 生徒実行委員会委員長挨拶	井上 壱翔
8 閉会宣言	棚橋 紅瑠 (生徒実行副委員長)

➤ 開会式・生徒交流会・閉会式は、指定席です。

生徒交流会

全国から集まった生徒の皆さんが楽しく交流できる会を企画しています。生徒実行委員の私たちも、皆さんと交流できることを心待ちにしています。記憶に残る楽しい交流会にしましょう！

記念講演

日時：令和6年8月5日(月) 10:00～11:15

場所：岐阜協立大学 7号館 講堂

講師：森 誠一（もり せいいち）氏

演題：『”郷土財”としての生物多様性とその保全』



【講師プロフィール】

岐阜協立大学地域創生研究所・教授、越前大野市「イトヨの里」館長。

理学博士（京都大学）。専門は進化生態学、社会行動学。国土交通大学校などでも講義。

日本魚類学会自然保護委員会委員長、生き物文化誌学会理事などを務める。第12回生態学琵琶湖賞受賞。自然が加速的に人工化される現状のなかで効果的な保全を目指し、河川工学や土木行政、民俗学および同位体環境学などの視点を網羅し、東日本大震災の復興・振興事業を含め、保全・地域活動を実践的に拡張中。学術雑誌NatureやScienceなどを含め論文・著書多数。また、NHK「生き物地球紀行」や「ダーウィンが来た」、映画『はりんこ ざわめく自然』など監修・製作し、環境保全に向けて周知・啓発を続けている。

【高校生へのメッセージ】

本講演では、「人新世」時代にある現代において、生態学の理念・方法・目的をベースに気候変動、野生生物絶滅、生態系管理など多様な環境問題に照らし合わせて、特に地域特性を題材にしながら、自然環境の有り得るべき像や方向性を自然科学的に見出すことを検討したいと思います。また、生物の多様な世界を科学的・合理的根拠にもとづいて知ることが、自身の世界観や自然観をも豊かにするものということを少しでも感じてもらうことが講演目標です。講演を通じて“郷土財”という造語の意味を理解いただければ幸いです。

発表に関する留意事項

1 研究発表の留意事項

- (1) 発表は、物理、化学、生物、地学の分野ごとの分科会形式で行います。
- (2) 発表者は、パソコン操作等を含め2名以内です。
- (3) 発表時間は12分以内とし、4分程度の質疑応答を行います。なお、質問は生徒と審査委員に限ります。
- (4) 計時は、司会が「〇〇高校の皆さん、よろしくお願ひします」と発言したところから始めます。計時の終了は、発表時間が終わった時点（参考文献・謝辞等も含む）とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。10分経過後にベルを1回鳴らします。12分経過後にベルを2回鳴らしますので速やかに発表を終了してください。16分経過後にベルを3回鳴らし、質問の有無にかかわらず終了とします。
- (5) 発表は日本語でお願いします。（英語等外国語は不可）
- (6) 原則として、各チームが持参したノートPC（またはタブレットPC等）を会場のプロジェクターにHDMI端子で接続します。画面比は16：9です。
- (7) 大会事務局が準備したノートPC（Windows11、PowerPoint2021仕様）を利用することも可能です（申込書様式3「部門事務局への連絡事項等」に記載）。当日持参したPCが不具合等の場合に利用することも可能です。ただし、動画等の動作の保証はできません。また、光学ドライブ無しの仕様です。USBでデータをご持参ください。ファイル名は「都道府県番号(半角)都道府県名・学校名・発表区分・分野」（例：21 岐阜・金華・研究・物理）としてください。
- (8) 大会初日（8月3日）の10:30～11:50に動作確認の時間を設けます。各会場で接続を行ってください。（先着順）
- (9) 他校の発表をカメラやビデオ等で撮影したものについては、研修等での使用に限定し、インターネットやSNS等へのアップロードは禁止します。
- (10) 本大会では、論文集をPDFで参加校に配布します。大会公式ウェブサイトからダウンロードして御覧ください（冊子の配布はありません）。パスワードは参加校に御連絡いたします。また、大会後は、ダウンロードできなくなりますので御注意ください。著作権を侵害する恐れのある画像等は使用しないでください。なお、各校持参（任意）の研究要旨60部程度を置く場所は準備します。ダウンロードした論文集は関係者以外へは転送しないでください。

2 ポスター発表の留意事項

- (1) 発表者は2名以内です。
- (2) 1つの研究について2回審査を行います。1回目の審査は、4分以内のプレゼンテーションの後、4分程度の質疑応答を行います。計時の開始時にベルを1回鳴らします。4分経過後にベルを2回鳴らしますので、速やかに発表を終了してください。その後、質疑応答開始から4分後にベルが鳴ったら終了です。2回目の審査は、1分のプレゼンテーションの後、3分程度の質疑応答とします。
- (3) 発表は日本語でお願いします。(英語等外国語による発表は不可)
- (4) 高さ120cm、幅180cm内に画鋏でポスターを掲示します。ポスター周辺に(既定の大きさを超える)装飾はできません。
- (5) 長机1脚を使用しての補助的な展示も可能です。なお、電源は使用できません。
- (6) 危険物、火気、生きた動植物の持ち込みは禁止とします。
- (7) 発表時間は、8月3日(土)13:00~18:15、および4日(日)9:00~11:33です。
- (8) 自校の3つ前の発表が審査を行うときから、自校のポスターの前に待機してください。
- (9) 休憩は適宜行ってください。その際、備え付けの『休憩中』の標示物を掲示してください。
- (10) 他校の発表やポスター等をカメラやビデオ等で撮影したものについては、研修等での使用に限定し、インターネットやSNS等へのアップロードは禁止します。
- (11) 本大会では、論文集をPDFで参加校に配布します。大会公式ウェブサイトからダウンロードして御覧ください(冊子の配布はありません)。パスワードは参加校に御連絡いたします。また、大会後は、ダウンロードできなくなりますので御注意ください。著作権を侵害する恐れのある画像等は使用しないでください。なお、各校持参(任意)の研究要旨60部程度はポスター掲示用のパネル前の机に置いてください。ダウンロードした論文集は関係者以外へは転送しないでください。

I 研究発表

- (1) 研究発表は、制限時間内に研究内容・研究成果を、プレゼンテーションソフト等を用いて聴衆に説明する。その後、質疑応答を行う。
- (2) 審査は、次の I、II により行い、評価項目等は別に定め、総合的に評価する。
 - I. 発表前に提出された研究発表論文による事前審査（計10点）
 - a. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）
 - b. 調査・研究の手段に創意工夫がなされ、結果の処理などが適切であるか。（5点）
 - II. 発表会場における当日審査（計30点）
 - a. 発表の手段や方法は適切であるか。（10点）
 - b. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）
 - c. 発表の態度や質疑応答の回答は適切であるか。（10点）
- (3) 研究発表論文は A 4 2 ページとし、書式等は別に定める。
- (4) 審査委員一人あたり、事前審査10点、当日審査30点、合計40点を満点とする。各審査委員の得点の平均点を算出し、最終得点とする。
- (5) 順位・受賞発表は、審査委員それぞれの得点の平均点をもとにして、審査委員会で決定する。

2 ポスター発表

- (1) ポスター発表は、研究内容・研究成果を高さ120cm×幅180cm内に展示し、プレゼンテーションを行って来場者にこれを説明し、質疑応答や意見交換を行う。
- (2) 審査は、次のⅠ、Ⅱにより行い、評価項目等は別に定め、総合的に評価する。
 - Ⅰ. 発表前に提出されたポスター発表論文による事前審査（計10点）
 - a. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）
 - b. 調査・研究の手段に創意工夫がなされ、結果の処理などが適切であるか。（5点）
 - Ⅱ. 発表会場における当日審査（計30点）
 - a. ポスターのレイアウトや説明は適切であるか。（10点）
 - b. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）
 - c. 発表の態度や質疑応答の回答は適切であるか。（10点）
- (3) ポスター発表論文はA4 2ページとし、書式等は別に定める。
- (4) 審査委員一人あたり、事前審査10点、当日審査30点、合計40点を満点とする。
- (5) 各審査委員の得点の平均点を算出する。
- (6) 参加校からの投票を行い、その結果を（5）の平均点に加点し最終得点とする。
なお、この投票方式及び加点幅については、別に定める。

3 表彰

- (1) 順位・受賞発表は、最終得点をもとにして、協議により審査委員会で決定する。
- (2) 物理・化学・生物・地学の各4部門の研究発表およびポスター発表部門の計5部門において、最上位を最優秀賞とする。2～3位に該当する2件を優秀賞とする。4～8位に該当する5件を奨励賞とする。
- (3) 最優秀賞を文部科学大臣賞とする。優秀賞を文化庁長官賞とする。

受付に関する留意事項

- 受付は3号館1階に設置します。
- 受付は引率者の先生1名で結構です。同じ学校で複数出場する場合もまとめて受付します。
- 配布する袋にID（ネームホルダー）が入っていますので、大会期間中は常に着用をお願いします。
- 荷物置き場は、8月3日(土) 3号館3階、8月5日(月) 3号館1階です。
- 受付終了後、研究発表の参加者は各会場へ行き、動作確認（接続確認）を行ってください。また、ポスター発表の参加者は、会場でポスターの貼付と展示物の設置を行ってください。

一般観覧について

- 研究発表、ポスター発表は一般の方にもご覧いただけます。
- 3号館1階で受付をしてください。
- ただし、開会式、閉会式、巡検研修、生徒交流会等には参加できません。
- 研究発表の発表時間中は、会場への出入りは控えてください。
- 岐阜協立大学の北側または東側駐車場を奥から詰めてご利用ください。
- 岐阜協立大学への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

おもてなし弁当に関する留意事項

- おもてなし弁当は8月3日(土)と4日(日)に準備します。宿泊サポートセンターのサイトを通してお申込みいただいた学校は、当日お受け取りください。
日時：8月3日(土) 10:00～11:30
8月4日(日) 11:00～12:00
場所：岐阜協立大学 3号館1階 受付
※学校単位で受け取りをお願いします。
※昼食会場は各研究発表会場、3号館3階(3311～3319)です。

救急体制

大会期間中に体調等が悪くなった場合は、近くの運営スタッフにお声がけください。救護室は3号館2階(3212)です。必要に応じて病院等を紹介いたします。

発表校一覧

区分 都道府県	研究発表				ポスター発表
	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野	
北海道	北海道札幌北高等学校	北海道旭川東高等学校	市立札幌旭丘高等学校	北海道函館中部高等学校	北海道旭川東高等学校
青森	青森県立八戸高等学校	青森県立八戸工業高等学校	青森県立八戸高等学校	青森山田高等学校	青森県立弘前中央高等学校
岩手	岩手県立盛岡第三高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校		岩手県立盛岡第一高等学校
宮城	宮城県岩ヶ崎高等学校	宮城県仙台第三高等学校	宮城県仙台第三高等学校	宮城県仙台第三高等学校	宮城県仙台第三高等学校
秋田	秋田県立秋田高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立秋田高等学校		秋田県立能代高等学校
山形	山形県立東桜学館高等学校	山形県立山形東高等学校	日本大学山形高等学校	山形県立山形中央高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校
福島	福島県立安積高等学校	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立会津学鳳高等学校
茨城	茨城県立並木中等教育学校	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	茨城県立並木中等教育学校	茨城県立日立第一高等学校	茨城県立緑岡高等学校
栃木	栃木県立鹿沼東高等学校	栃木県立栃木女子高等学校	栃木県立佐野高等学校		栃木県立日光明峰高等学校
群馬	群馬県立前橋高等学校	群馬県立桐生高等学校	群馬県立太田女子高等学校	群馬県立太田女子高等学校	群馬県立太田女子高等学校
埼玉	埼玉県立松山高等学校	埼玉県立坂戸高等学校	埼玉県立川越高等学校	獨協埼玉中学高等学校	埼玉県立伊奈学園総合高等学校
千葉	千葉県立東葛飾高等学校	千葉県立長狭高等学校	千葉県立安房高等学校	千葉県立木更津高等学校	千葉市立千葉高等学校
東京	東京都立科学技術高等学校	立教池袋高等学校	東京都立南多摩中等教育学校	東京都立戸山高等学校	安田学園高等学校
神奈川	川崎市立川崎高等学校	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校	神奈川県立多摩高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校
新潟	新潟県立新潟中央高等学校	新潟県立新潟田高等学校	新潟明訓高等学校	新潟県立新潟中央高等学校	新潟県立十日町高等学校
富山	富山県立富山中部高等学校	富山第一高等学校	富山県立富山中部高等学校	富山第一高等学校	富山県立富山中部高等学校
石川	石川県立小松高等学校	金沢高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立小松高等学校	石川県立七尾高等学校
山梨	山梨県立韭崎高等学校	山梨県立甲府南高等学校	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立日川高等学校	山梨県立都留高等学校
長野	長野県木曾青峰高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	長野県大町岳陽高等学校	長野県飯山高等学校	長野県上田高等学校
岐阜	岐阜県立吉城高等学校	岐阜県立岐山高等学校	岐阜県立郡上北高等学校	岐阜県立加茂高等学校	岐阜県立大垣北高等学校
	岐阜県立大垣北高等学校	岐阜県立八百津高等学校	岐阜県立岐阜高等学校	岐阜県立大垣北高等学校	岐阜県立多治見高等学校
	岐阜県立多治見北高等学校	岐阜県立武義高等学校	岐阜県立大垣養老高等学校	岐阜県立加茂高等学校	岐阜県立斐太高等学校
	岐阜県立岐阜高等学校	岐阜県立加茂高等学校	岐阜県立岐阜北高等学校	岐阜県立関高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
静岡	静岡県立科学技術高等学校	静岡県立清水東高等学校	静岡県立掛川西高等学校	静岡県立磐田南高等学校	静岡県立清水東高等学校
愛知	愛知県立一宮高等学校	愛知県立岡崎北高等学校			愛知県立時習館高等学校
滋賀	滋賀県立膳所高等学校	滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県立河瀬高等学校	滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県立米原高等学校
京都	京都市立京都工学院高等学校	京都市立京都工学院高等学校	京都府立南陽高等学校	京都府立桃山高等学校	京都府立北陵高等学校
兵庫	兵庫県立加古川東高等学校	兵庫県立神戸高等学校	関西学院高等部	兵庫県立小野高等学校	兵庫県立宝塚北高等学校
和歌山	和歌山信愛高等学校	和歌山県立日高高等学校	和歌山県立田辺高等学校	近畿大学附属和歌山高等学校	和歌山県立日高高等学校中津分校
鳥取	鳥取県立米子東高等学校	鳥取県立米子東高等学校	鳥取県立米子東高等学校		
島根	島根県立出雲高等学校	島根県立益田高等学校	島根県立浜田高等学校	島根県立浜田高等学校	島根県立松江北高等学校
広島	広島県立広島高等学校	広島女学院高等学校	広島県立西条農業高等学校		広島県立鞆北高等学校
山口	山口県立宇部高等学校	山口県立下関西高等学校	山口県立山口高等学校		山口県立徳山高等学校
徳島	徳島県立城南高等学校	徳島県立富岡東高等学校			徳島県立脇町高等学校
香川	高松第一高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立観音寺第一高等学校	香川県立高瀬高等学校
愛媛	愛媛県立松山南高等学校	愛媛県立西条高等学校 愛媛県立今治西高等学校	愛媛県立松山北高等学校	愛媛県立松山西中等教育学校	愛媛県立松山商業高等学校
高知	高知学芸高等学校		土佐塾高等学校	土佐塾高等学校	土佐女子高等学校
福岡	福岡県立宗像高等学校	福岡県立明善高等学校	福岡県立小倉高等学校	福岡工業大学附属城東高等学校	福岡県立小倉高等学校
佐賀	佐賀県立佐賀西高等学校	佐賀県立致遠館高等学校	佐賀県立致遠館高等学校	佐賀県立佐賀西高等学校	佐賀県立鳥栖高等学校
長崎	長崎県立長崎西高等学校	長崎県立長崎西高等学校	長崎県立長崎西高等学校	長崎県立長崎西高等学校	長崎県立長崎北陽台高等学校
熊本	熊本県立熊本北高等学校	熊本県立松橋高等学校	熊本県立第二高等学校	熊本県立宇土高等学校	熊本県立夕ヶ嶺高等学校
大分	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校	大分県立安心院高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
宮崎	宮崎県立宮崎北高等学校	宮崎県立宮崎北高等学校	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	宮崎県立宮崎北高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校
鹿児島	鹿児島県立錦江湾高等学校	鹿児島県立曾於高等学校	鹿児島県立錦江湾高等学校	学校法人池田学園池田高等学校	鹿児島県立錦江湾高等学校
沖縄	沖縄県立美里高等学校	沖縄県立美里高等学校	沖縄県立球陽高等学校		沖縄県立首里高等学校
発表件数計	45件	44件	43件	36件	44件

発表プログラム（研究発表 物理分野）

研究発表	物理分野 A会場（6201 教室）
------	-------------------

1 日目 令和 6 年 8 月 3 日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物A01	13:20～13:36	東京	東京都立科学技術高等学校	科学研究部	イオンクラフトをベースとした次世代イオンエンジンの開発2
物A02	13:38～13:54	沖縄	沖縄県立美里高等学校	地球科学同好会	ボトルフリップにおけるペットボトル内の水の挙動解析
物A03	13:56～14:12	北海道	北海道札幌北高等学校	物理化学部	振り子の式を作ろう ー減少率を決定する条件ー
物A04	14:14～14:30	長崎	長崎県立長崎西高等学校	物理部	変形するボールと反発係数について
休憩（14:30～14:45）					
物A05	14:45～15:01	岐阜	岐阜県立吉城高等学校	科学部	突起(ペブル)がある床面を滑る回転体のカール方向の研究
物A06	15:03～15:19	愛知	愛知県立一宮高等学校	物化部	風の傾斜角によるプロペラ型風車の発電損失とその軽減
物A07	15:21～15:37	香川	高松第一高等学校	自然科学部	パーフェクトジェンガを達成させるための方法
物A08	15:39～15:55	山形	山形県立東桜学館高等学校	探究部	熱電変換素子の展性・延性加工による熱電能への影響
休憩（15:55～16:10）					
物A09	16:10～16:26	京都	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	パン酵母燃料電池に用いる半透膜へのセリシン添加による長寿命化
物A10	16:28～16:44	福島	福島県立安積高等学校	物理部	なぜスマホは画面を下にして落ちるのか
物A11	16:46～17:02	高知	高知学芸高等学校	理科部	音の周波数変化によるダイラタンシーへの影響
物A12	17:04～17:20	静岡	静岡県立科学技術高等学校	自然科学部	ペットボトルフリップの運動解析
休憩（17:20～17:35）					
物A13	17:35～17:51	山梨	山梨県立韮崎高等学校	物理化学部	液体の跳ね返り
物A14	17:53～18:09	熊本	熊本県立熊本北高等学校	自然科学部（物理分野）	ホワイトボードとマーカーで発生する音に関する研究
物A15	18:11～18:27	青森	青森県立八戸高等学校	自然科学部	紛粒体のつくる安息角について
諸連絡（18:27～18:30）					

研究発表	物理分野 A会場 (6201 教室)
-------------	---------------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物A16	9:20～9:36	岩手	岩手県立盛岡第三高等学校	理数探究コース物理班	ゴフジュール効果による温度変化に関する実験
物A17	9:38～9:54	石川	石川県立小松高等学校	理化部	ミルククラウンの粒の個数を決める要因について
物A18	9:56～10:12	茨城	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	光干渉によるラップの膜厚測定～透過スペクトルから求める～
物A19	10:14～10:30	山口	山口県立宇部高等学校	科学部	遠くに飛ぶ紙飛行機を作る
休憩 (10:30～10:37)					
物A20	10:37～10:53	新潟	新潟県立新潟中央高等学校	生物部	ポニーテールの揺れ方についての研究
物A21	10:55～11:11	宮崎	宮崎県立宮崎北高等学校	科学部	段差でこけない自転車
物A22	11:13～11:29	岐阜	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	モデル化した翼に生じる気流と揚力について
諸連絡 (11:29～11:34)					

研究発表	物理分野 B会場 (8201 教室)
------	--------------------

1 日目 令和 6 年 8 月 3 日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物B01	13:20～13:36	岐阜	岐阜県立多治見北高等学校	自然科学部	含水系ER流体の粘性
物B02	13:38～13:54	富山	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	摩擦係数の速度と時間との関係性
物B03	13:56～14:12	愛媛	愛媛県立松山南高等学校	自然科学部	固有振動数域の広い共鳴管の条件
物B04	14:14～14:30	秋田	秋田県立秋田高等学校	理数科	ミュオグラフィによる校舎内構造の把握
休憩 (14:30～14:45)					
物B05	14:45～15:01	徳島	徳島県立城南高等学校	科学部	単弾性振り子
物B06	15:03～15:19	群馬	群馬県立前橋高等学校	科学・物理部	スマート自転車「トマルくん」の開発
物B07	15:21～15:37	滋賀	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	磁束密度と耐荷重の関係
物B08	15:39～15:55	大分	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	マグヌスコップの流体力学
休憩 (15:55～16:10)					
物B09	16:10～16:26	宮城	宮城県岩ヶ崎高等学校	科学部	ホバークラフトの運搬能力向上を目指して
物B10	16:28～16:44	鹿児島	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部 石けん膜班	石けん膜を利用した表面張力の測定
物B11	16:46～17:02	埼玉	埼玉県立松山高等学校	物理部	キャビテーション気泡による懐食条件
物B12	17:04～17:20	島根	島根県立出雲高等学校	自然科学部	壁を登るロボットの研究
休憩 (17:20～17:35)					
物B13	17:35～17:51	栃木	栃木県立鹿沼東高等学校	科学部	身近な物質を添加したシャボン液の可能性
物B14	17:53～18:09	佐賀	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	響板の形状と音の増幅の関係について
物B15	18:11～18:27	長野	長野県木曾青峰高等学校	自然科学同好会	氷砂糖の摩擦発光 ～接触面積と破壊する強さが及ぼす影響～
諸連絡 (18:27～18:30)					

研究発表	物理分野 B会場 (8201 教室)
------	--------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物B16	9:20～9:36	神奈川	川崎市立川崎高等学校	科学部	on固散浸（固体の上で繰り広げられる液体のドラマ）
物B17	9:38～9:54	広島	広島県立広島高等学校	科学研究部	液体の性質の違いによる落水音の性質の変化
物B18	9:56～10:12	岐阜	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部物理班	加速度センサーを用いたパラシュートの性能評価
物B19	10:14～10:30	福岡	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	回転する球体の運動に関する研究
休憩（10:30～10:37）					
物B20	10:37～10:53	千葉	千葉県立東葛飾高等学校	理科部	サーキュレーターで空調を快適に～熱流体シミュレーションによる空調
物B21	10:55～11:11	和歌山	和歌山信愛高等学校	科学部	私は巨人の肩には乗れるのか
物B22	11:13～11:29	兵庫	兵庫県立加古川東高等学校	自然科学部物理班	ダイラタンシー流体に砂鉄が与える影響
物B23	11:31～11:47	鳥取	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	開口端補正を左右する要因についての研究
諸連絡（11:47～11:52）					

発表プログラム（研究発表 化学分野）

研究発表	化学分野 A会場 (5201 教室)
------	--------------------

1日目 令和6年8月3日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化A01	13:20～13:36	栃木	栃木県立栃木女子高等学校	化学部	香りについての研究
化A02	13:38～13:54	福岡	福岡県立明善高等学校	化学部	ポリフェノール類を利用した実用電池の開発 ～エネルギー資源としての柿渋の有効利用について～
化A03	13:56～14:12	岐阜	岐阜県立岐山高等学校	自然科学部化学講座	きれいな緋銅の科学的解明
化A04	14:14～14:30	福島	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部化学班	複数の単糖混合溶液における還元性を利用した単糖定量法の実現
休憩 (14:30～14:45)					
化A05	14:45～15:01	鳥取	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	アントシアニンの変色に関する研究
化A06	15:03～15:19	長野	長野県諏訪清陵高等学校	化学部	プルシアンブルーを用いたルミノール反応の反応機構について
化A07	15:21～15:37	秋田	秋田県立大館鳳鳴高等学校	化学部	秋田白炭の有効利用についての研究
化A08	15:39～15:55	千葉	千葉県立長狭高等学校	科学部	ヨウ素時計反応の誘導時間の経時変化とその原因の解明
休憩 (15:55～16:10)					
化A09	16:10～16:26	佐賀	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	有用物質クマリンの農薬としての実用化にむけて
化A10	16:28～16:44	富山	富山第一高等学校	自然科学部	毛髪で布を染めることはできるのか？
化A11	16:46～17:02	岩手	岩手県立盛岡第三高等学校	理数探究コース化学2班	炭と化学
化A12	17:04～17:20	神奈川	神奈川県立神奈川総合産業高等学校	化学工学部	チンして簡単！レンジでエステル合成
休憩 (17:20～17:35)					
化A13	17:35～17:51	岐阜	岐阜県立八百津高等学校	自然科学部	山間のため池にあるマイクロプラスチックの研究Ⅲ
化A14	17:53～18:09	和歌山	和歌山県立日高高等学校	科学部	寒天プラスチックの実用化に向けて
化A15	18:11～18:27	鹿児島	鹿児島県立曾於高等学校	科学部	廃棄されるシロツメクサからの銅アンモニアアレーヨンの開発
諸連絡 (18:27～18:30)					

研究発表	化学分野 A会場 (5201 教室)
------	--------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化A16	9:20～9:36	群馬	群馬県立桐生高等学校	理科部	廃棄豚骨からリン酸の生成
化A17	9:38～9:54	愛媛	愛媛県立西条高等学校 愛媛県立今治西高等学校	科学部 (化学) 自然科学部 (化学)	Li回収の基礎実験～ウユニ塩湖のかん水から～
化A18	9:56～10:12	北海道	北海道旭川東高等学校	化学部	AI-C電池の正極におけるO ₂ とH ₂ Oの還元反応
化A19	10:14～10:30	熊本	熊本県立松橋高等学校	サイエンス部	アマニ油の劣化反応の定量分析 ～劣化を追う!～
休憩 (10:30～10:37)					
化A20	10:37～10:53	山梨	山梨県立甲府南高等学校	物質化学部	金属樹と電流密度・結晶格子の関係
化A21	10:55～11:11	徳島	徳島県立富岡東高等学校	化学研究部	メラミン等由来の窒素を含む炭素電極の酸素還元触媒作用
化A22	11:13～11:29	香川	香川県立三本松高等学校	科学部	金属イオンのカゼイン凝集力と樹脂作製に与える影響
諸連絡 (11:29～11:34)					

研究発表	化学分野 B会場 (4201 教室)
-------------	---------------------------

1 日目 令和 6 年 8 月 3 日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化B01	13:20～13:36	山口	山口県立下関西高等学校	科学部	アルギン酸塩膜を用いた被膜殻の研究
化B02	13:38～13:54	滋賀	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部化学班	染色を用いたプラスチックの識別検討
化B03	13:56～14:12	青森	青森県立八戸工業高等学校	科学部	銀樹の生成過程における磁場の影響
化B04	14:14～14:30	石川	金沢高等学校	科学部	ピンクソルト発色の原因とその再現に挑戦
休憩 (14:30～14:45)					
化B05	14:45～15:01	広島	広島女学院高等学校	理科部化学班	硝酸銀水溶液に黄銅板を置いて生じる金属樹
化B06	15:03～15:19	山形	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	内部抵抗に注目した自作亜鉛-空気二次電池の作製と評価
化B07	15:21～15:37	岐阜	岐阜県立武義高等学校	科学部	植物ススキから作るガラスは何色? ~ススキガラスの発色の謎に迫る~
化B08	15:39～15:55	長崎	長崎県立長崎西高等学校	化学部	金属イオンを用いたイノシン酸の検量線の作成について
休憩 (15:55～16:10)					
化B09	16:10～16:26	新潟	新潟県立新発田高等学校	自然科学部化学班	プラスチックの油層への吸着
化B10	16:28～16:44	東京	立教池袋高等学校	科学部	鉄光触媒の可能性
化B11	16:46～17:02	宮崎	宮崎県立宮崎北高等学校	科学部	ヒドロキシプロピルセルロースの圧力応答性の数式化 ~圧力測定シートの実用化を目指して~
化B12	17:04～17:20	茨城	茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	サイエンス部	天然繊維を添加したカゼインプラスチックの強度と生分解性の比較
休憩 (17:20～17:35)					
化B13	17:35～17:51	兵庫	兵庫県立神戸高等学校	自然科学研究会化学班	竹由来のセルロース系バイオエタノール生成
化B14	17:53～18:09	大分	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	ヨウ素滴定によるアミノ酸混合溶液の定量
化B15	18:11～18:27	静岡	静岡県立清水東高等学校	自然科学部化学班	リチウムイオン電池の劣化とその対策
諸連絡 (18:27～18:30)					

研究発表	化学分野 B会場 (4201 教室)
------	--------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化B16	9:20～9:36	島根	島根県立益田高等学校	自然科学部	卵白の代替品を探そう
化B17	9:38～9:54	宮城	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部化学班	水酸化鉄(Ⅲ)コロイド生成におけるガラス着色の研究
化B18	9:56～10:12	京都	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	TiO ₂ 薄膜/タートラジン色素の界面状態解析～吸着等温線と分光分析法による考察～
化B19	10:14～10:30	岐阜	岐阜県立加茂高等学校	自然科学部	「オオキンケイギク」を用いた草木染～媒染剤による多様な染色を目指して～
休憩 (10:30～10:37)					
化B20	10:37～10:53	埼玉	埼玉県立坂戸高等学校	科学部	ベルリンホワイト生成時の紫成分
化B21	10:55～11:11	沖縄	沖縄県立美里高等学校	地球科学同好会	Brixメーターによる物質濃度の簡易測定法の検討について
化B22	11:13～11:29	愛知	愛知県立岡崎北高等学校	サイエンス部	白色不朽材からパルプをつくる
諸連絡 (11:29～11:34)					

発表プログラム（研究発表 生物分野）

研究発表	生物分野 A会場（5101 教室）
------	-------------------

1 日目 令和6年8月3日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生A01	13:20～13:36	島根	島根県立浜田高等学校	自然科学部	フナムシは偏りなく餌を食うのか？ ～雑食性のフナムシの栄養摂取について～
生A02	13:38～13:54	神奈川	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	身近な食べ物を消化薬に変身させる！
生A03	13:56～14:12	和歌山	和歌山県立田辺高等学校	生物部	ガムシ類における胸部突起の機能の推測
生A04	14:14～14:30	岐阜	岐阜県立郡上北高等学校	科学部	郡上市和良町のオオサンショウウオ生息保存調査
休憩（14:30～14:45）					
生A05	14:45～15:01	茨城	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	シロツメクサのアレロパシー ～伸長抑制と細胞周期の関係～
生A06	15:03～15:19	鹿児島	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部 クモ班	建物に巣をつくるジョロウグモに種内競争はあるのか？
生A07	15:21～15:37	石川	石川県立七尾高等学校	SSC	ブタナの傾性運動に影響する環境要因について
生A08	15:39～15:55	沖縄	沖縄県立球陽高等学校	生物部	ガジュマルとコバチの共生関係 ～非送粉コバチは送粉しているのか～
休憩（15:55～16:10）					
生A09	16:10～16:26	北海道	市立札幌旭丘高等学校	サイエンス部	アキアカネの孵化と水温・産卵時期の関係
生A10	16:28～16:44	兵庫	関西学院高等部	理科部	イチモンジタナゴのオスに見られた管状の器官とその役割
生A11	16:46～17:02	愛媛	愛媛県立松山北高等学校	科学部	シカの食害による土壌動物の生物多様性に与える影響
生A12	17:04～17:20	宮城	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部生物班	ミカヅキモの有性生殖について
休憩（17:20～17:35）					
生A13	17:35～17:51	京都	京都府立南陽高等学校	自然科学部	ギンナンはレタス種子の発芽を抑制する
生A14	17:53～18:09	新潟	新潟明訓高等学校	生物部	サドサンショウウオの詳細分布域調査と飼育技術の確立
生A15	18:11～18:27	山形	日本大学山形高等学校	生物部	山形五堰におけるオオエゾヨコエビの分布
諸連絡（18:27～18:30）					

研究発表	生物分野 A会場 (5101 教室)
------	--------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生A16	9:20～9:36	岐阜	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	岐阜市長良川堤防に生息するジャコウアゲハとホソオチョウの競合について
生A17	9:38～9:54	秋田	秋田県立秋田高等学校	生物部	食品保存料ナイシンと香料の相乗効果
生A18	9:56～10:12	東京	東京都立南多摩中等教育学校	科学部	アサリの水質浄化作用の評価と海水浄化システムに関する研究
生A19	10:14～10:30	大分	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	キササゲの抗微生物効果
休憩 (10:30～10:37)					
生A20	10:37～10:53	静岡	静岡県立掛川西高等学校	自然科学部	水生昆虫由来の環境DNA検出方法の確立を目指して
生A21	10:55～11:11	長野	長野県大町岳陽高等学校	科学部	アオジソの防衛戦略 VS 病害虫～香気成分の効果はいかに?～
諸連絡 (11:11～11:16)					

研究発表	生物分野 B会場 (4101 教室)
-------------	---------------------------

1 日目 令和 6 年 8 月 3 日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生B01	13:20～13:36	福島	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部生物班	発光バクテリアの発光強度とバイオフィルム形成についての研究
生B02	13:38～13:54	山梨	山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	絶滅危惧植物キツネノカミソリの山梨県内での新分布地を確認
生B03	13:56～14:12	岩手	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	ナガコガネグモのカフェイン暴露による造網行動への影響 第2報
生B04	14:14～14:30	熊本	熊本県立第二高等学校	生物部	ニホンイシガメの認識能力と学習能力について
休憩 (14:30～14:45)					
生B05	14:45～15:01	富山	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	ホクリクサンショウウオの環境DNAを利用した生息調査と保護活動について
生B06	15:03～15:19	青森	青森県立八戸高等学校	自然科学部	サカマキガイの生態に関する研究
生B07	15:21～15:37	山口	山口県立山口高等学校	化学・生物部	昆虫培養細胞を用いた農薬の選択毒性評価
生B08	15:39～15:55	埼玉	埼玉県立川越高等学校	生物部	オニヤンマ模型の虫除け効果の検証
休憩 (15:55～16:10)					
生B09	16:10～16:26	岐阜	岐阜県立大垣養老高等学校	農業研究部	駆除したアメリカザリガニを活用した牛ふん堆肥生産と活用試験
生B10	16:28～16:44	広島	広島県立西条農業高等学校	自然科学部	未利用資源の硬質ケラチンを細菌の力で肥料に～羽毛や髪から作成した肥料で植物は育つか～
生B11	16:46～17:02	鳥取	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	サカマキガイの生存可能な溶存酸素量
生B12	17:04～17:20	香川	香川県立三本松高等学校	科学部	国内外来種アカハネオンブバッタの香川県における現状
休憩 (17:20～17:35)					
生B13	17:35～17:51	群馬	群馬県立太田女子高等学校	理科学研究部	簡単単離寒天培地～細菌汚染に強い酵母専用寒天培地～
生B14	17:53～18:09	千葉	千葉県立安房高等学校	生物部	アマモの有無における生息魚種について採取調査と環境DNA分析を用いた比較
生B15	18:11～18:27	福岡	福岡県立小倉高等学校	生物部	ユーカリの可能性～抗菌作用・抗真菌作用と抗酸化作用の確認と応用～
諸連絡 (18:27～18:30)					

研究発表	生物分野 B会場 (4101 教室)
------	--------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生B16	9:20～9:36	佐賀	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	クマリンの発芽抑制効果を決定づけるメカニズムの発見
生B17	9:38～9:54	宮崎	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	生物部	ミヤザキサンショウウオの外敵のいる環境における形態変化についての研究
生B18	9:56～10:12	滋賀	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	ワラジムシの交替制転向反応について
生B19	10:14～10:30	栃木	栃木県立佐野高等学校	科学部	トウキョウサンショウウオの共食いに関する研究
休憩 (10:30～10:37)					
生B20	10:37～10:53	岐阜	岐阜県立岐阜北高等学校	科学部自然科学班	岐阜県における外来プラナリアの分布とその要因
生B21	10:55～11:11	高知	土佐塾高等学校	科学部	国分川の発電菌
生B22	11:13～11:29	長崎	長崎県立長崎西高等学校	生物部	アカハライモリが餌として認識する大きさについて
諸連絡 (11:29～11:34)					

発表プログラム（研究発表 地学分野）

研究発表	地学分野 A会場（6101 教室）
------	-------------------

1 日目 令和6年8月3日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地A01	13:20～13:36	大分	大分県立安心院高等学校	科学部	安心院地域における今市火砕流堆積物について
地A02	13:38～13:54	岐阜	岐阜県立加茂高等学校	自然科学部	岐阜県白川町で発生したバックウォーター現象による河川氾濫
地A03	13:56～14:12	新潟	新潟県立新潟中央高等学校	地学部	続・液状化現象について
地A04	14:14～14:30	佐賀	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	古第三紀の佐賀の姿に迫る！
休憩（14:30～14:45）					
地A05	14:45～15:01	神奈川	神奈川県立多摩高等学校	地学部	上総層群の微化石と環境
地A06	15:03～15:19	宮城	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部地学班	トリゴニアの表面構造から探る ～トリゴニアはどう生き抜いたのか～
地A07	15:21～15:37	高知	土佐塾高等学校	天文部	高知県の夜空の明るさ 2023 ～夜空の明るさと雲の高さの関係、高知市の夜空の色～
地A08	15:39～15:55	島根	島根県立浜田高等学校	自然科学部	鳴砂を環境汚染の指標にするための研究
休憩（15:55～16:10）					
地A09	16:10～16:26	茨城	茨城県立日立第一高等学校	地学部	河岸の表層土壌の保水性と河川の氾濫の関係性について
地A10	16:28～16:44	長野	長野県飯山高等学校	自然科学部	表面波探査・ボーリングデータの分析による飯山高校直下における断層変位の可能性
地A11	16:46～17:02	千葉	千葉県立木更津高等学校	地学部	局地的な気象予測で地域をより安全に
地A12	17:04～17:20	福岡	福岡工業大学附属城東高等学校	科学部	雲の形状観測による天気予測 ～十種雲形と種・変種の組み合わせ～
休憩（17:20～17:35）					
地A13	17:35～17:51	滋賀	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	太陽活動を追う 2
地A14	17:53～18:09	岐阜	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	オオサンショウウオの棲みやすい環境とは？ ～地学的要因の分析と在来種の保全～
地A15	18:11～18:27	愛媛	愛媛県立松山西中等教育学校	科学情報部	日の入り後に発生する突発性層積雲の形成過程に迫る
諸連絡（18:27～18:30）					

研究発表	地学分野 A会場 (6101 教室)
-------------	---------------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地A16	9:20～9:36	青森	青森山田高等学校	理科学研究部	八甲田山の火山噴火被害をリアルに可視化する
地A17	9:38～9:54	鹿児島	学校法人池田学園池田高等学校	科学思考班①	「伊居太神社日記」の天気記録で江戸時代の天候を復元してわかったこと -2つの古文書をつなぐ試み-
地A18	9:56～10:12	富山	富山第一高等学校	自然科学部	放射温度計を活用した雲底温度の測定
諸連絡 (10:12～10:17)					

研究発表	地学分野 B会場 (6102 教室)
-------------	---------------------------

1 日目 令和 6 年 8 月 3 日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地B01	13:20～13:36	熊本	熊本県立宇土高等学校	科学部地学班	不知火海を吹く風 ～近くに気象観測所がない場所の風の推定～
地B02	13:38～13:54	群馬	群馬県立太田女子高等学校	理科研究部	茨城県阿見町の更新統下総層群から産出したウミシダ骨板化石
地B03	13:56～14:12	京都	京都府立桃山高等学校	グローバルサイエンス部	待ったなし！地球温暖化 でも、その前に・・・
地B04	14:14～14:30	埼玉	獨協埼玉中学高等学校	サイエンス部	風媒花粉は校舎の局所風を反映するか
休憩 (14:30～14:45)					
地B05	14:45～15:01	兵庫	兵庫県立小野高等学校	天文部	掩蔽を利用した小惑星観測と解析
地B06	15:03～15:19	山梨	山梨県立日川高等学校	物理・地学部	観測を基にした虹の出現予測の試み
地B07	15:21～15:37	東京	東京都立戸山高等学校	天文気象部	星の瞬きと高層気象 ～星と気象を結びつける～
地B08	15:39～15:55	静岡	静岡県立磐田南高等学校	地学部	遠州灘鮫島海岸で見られるジルコンの様相による起源の推定
休憩 (15:55～16:10)					
地B09	16:10～16:26	和歌山	近畿大学附属和歌山高等学校	科学部	植物珪酸体の検出と土壌による比較
地B10	16:28～16:44	石川	石川県立小松高等学校	天文・数学同好会	気温変化と蜃気楼の見え方の関係
地B11	16:46～17:02	岐阜	岐阜県立加茂高等学校	自然科学部	月食画像から求める月の大きさ
地B12	17:04～17:20	北海道	北海道函館中部高等学校	科学部	渡島大沼流入河川に含まれる成分の季節変動
休憩 (17:20～17:35)					
地B13	17:35～17:51	長崎	長崎県立長崎西高等学校	地学部	浦上川のヘドロ堆積の研究
地B14	17:53～18:09	宮崎	宮崎県立宮崎北高等学校	科学部	太陽フレア発生に伴う渡り鳥の分布変化
地B15	18:11～18:27	香川	香川県立観音寺第一高等学校	天体部	津波の越流に耐える陸側堤防の理想の形
諸連絡 (18:27～18:30)					

研究発表	地学分野 B会場 (6102 教室)
------	--------------------

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地B16	9:20～9:36	福島	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部	鶴ヶ城の水質調査及び水質改善への導水に関する研究
地B17	9:38～9:54	岐阜	岐阜県立関高等学校	自然科学部	霧箱と放射線について
地B18	9:56～10:12	山形	山形県立山形中央高等学校	文理科学部	人工セレンナイトへの挑戦
諸連絡 (10:12～10:17)					

発表プログラム（ポスター発表）

ポスター発表 A会場（学生会館2階）

1日目 令和6年8月3日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PA01	13:25～13:33	徳島	徳島県立脇町高等学校	探究部	世界農業遺産！傾斜地農耕システムの秘密 ～コエグロ利用の可能性を探る！！～
PA02	13:35～13:43	秋田	秋田県立能代高等学校	科学部	ハリエンジュ花卉によるネギの湾曲
PA03	13:45～13:53	岐阜	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	岐阜県に生息する渓流性サンショウウオの生息適地 モデルの作成と系統解析
PA04	13:55～14:03	長崎	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	ウノアシガイの隠蔽擬態に関する研究 ～白模様で隠された秘密～
PA05	14:05～14:13	山梨	山梨県立都留高等学校	自然科学部	ダンゴムシの行動特性
PA06	14:15～14:23	宮崎	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	パーティー開けにかかる力
休憩（14:23～14:38）					
PA07	14:38～14:46	京都	京都府立北稜高等学校	天文学部	風倒木発生は自然的要因だけで考察してもいいの か？
PA08	14:48～14:56	和歌山	和歌山県立日高高等学校中津分校	自然科学部同好会	日高川におけるカワゲラ目の分布について
PA09	14:58～15:06	埼玉	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	地質天文部	山中白亜系からのPalorbitolina ultimaの発見と年代の 推定
PA10	15:08～15:16	青森	青森県立弘前中央高等学校	自然科学部	抗菌作用をもつ植物由来の顔料の作製と機能評価
PA11	15:18～15:26	栃木	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	プラナリアの環境応答
休憩（15:26～15:41）					
PA12	15:41～15:49	岐阜	岐阜県立多治見高等学校	総合文化部科学部門	人を惹きつけるお金の音のメカニズム
PA13	15:51～15:59	沖縄	沖縄県立首里高等学校	生物部	オキナワウスカワマイマイの形態の研究Ⅳ ～沖縄島調査と校内調査を通じて～
PA14	16:01～16:09	富山	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	カルボキシ基の電離平衡の移動で変化させるNaCl型 結晶の形状
PA15	16:11～16:19	島根	島根県立松江北高等学校	自然科学部	コップからこぼれる水の形状についての研究
PA16	16:21～16:29	東京	安田学園高等学校	生物部	クロマルハナバチの幼虫のin vitro飼育系の確立
PA17	16:31～16:39	愛媛	愛媛県立松山商業高等学校	科学部	タデアイの葉を用いたインジルピン生成条件
休憩（16:39～16:54）					
PA18	16:54～17:02	岩手	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	岩手県の河川における附着藻類相とアユの食性
PA19	17:04～17:12	熊本	熊本県立済々黌高等学校	生物部	発達した神経系を持たないウニ類に長期記憶が確認 された
PA20	17:14～17:22	石川	石川県立七尾高等学校	SSC	降雨による電波強度の減衰を利用した降水量予測
PA21	17:24～17:32	福島	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部化学班	アラニト銅水溶液中に生じた赤色薄膜の物質同定 と生成過程の解明
PA22	17:34～17:42	大分	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	液滴が作る信号反応層による溶存酸素量の測定
生徒交流発表【奇数番号発表】（17:42～17:57）					
入れ替え連絡（17:57～18:00）					
生徒交流発表【偶数番号発表】（18:00～18:15）					
諸連絡（18:15～18:20）					

ポスター発表 A会場（学生会館2階）

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PA01	9:10～9:14	徳島	徳島県立脇町高等学校	探究部	世界農業遺産！傾斜地農耕システムの秘密 ～コエグロ利用の可能性を探る！！～
PA02	9:16～9:20	秋田	秋田県立能代高等学校	科学部	ハリエンジュ花弁によるネギの湾曲
PA03	9:22～9:26	岐阜	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	岐阜県に生息する渓流性サンショウウオの生息適地 モデルの作成と系統解析
PA04	9:28～9:32	長崎	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	ウノアシガイの隠蔽擬態に関する研究 ～白模様で隠された秘密～
PA05	9:34～9:38	山梨	山梨県立都留高等学校	自然科学部	ダンゴムシの行動特性
PA06	9:40～9:44	宮崎	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	パーティー開けにかかる力
PA07	9:46～9:50	京都	京都府立北稜高等学校	天文学部	風倒木発生は自然的要因だけで考察してもいいの か？
PA08	9:52～9:56	和歌山	和歌山県立日高高等学校中津分校	自然科学部同好会	日高川におけるカワゲラ目の分布について
PA09	9:58～10:02	埼玉	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	地質天文部	山中白亜系からのPalorbitolina ultimaの発見と年 代の推定
PA10	10:04～10:08	青森	青森県立弘前中央高等学校	自然科学部	抗菌作用をもつ植物由来の顔料の作製と機能評価
PA11	10:10～10:14	栃木	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	プラナリアの環境応答
PA12	10:16～10:20	岐阜	岐阜県立多治見高等学校	総合文化部科学部門	人を惹きつけるお金の音のメカニズム
PA13	10:22～10:26	沖縄	沖縄県立首里高等学校	生物部	オキナワウスカワマイマイの形態の研究Ⅳ ～沖縄島調査と校内調査を通じて～
PA14	10:28～10:32	富山	富山県立富山中部高等学校	スーパーサイエンス部	カルボキシ基の電離平衡の移動で変化させるNaCl型 結晶の形状
休憩（10:32～10:47）					
PA15	10:47～10:51	島根	島根県立松江北高等学校	自然科学部	コップからこぼれる水の形状についての研究
PA16	10:53～10:57	東京	安田学園高等学校	生物部	クロマルハナバチの幼虫のin vitro飼育系の確立
PA17	10:59～11:03	愛媛	愛媛県立松山商業高等学校	科学部	タデアイの葉を用いたインジルピン生成条件
PA18	11:05～11:09	岩手	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	岩手県の河川における付着藻類相とアユの食性
PA19	11:11～11:15	熊本	熊本県立済々黌高等学校	生物部	発達した神経系を持たないウニ類に長期記憶が確認 された
PA20	11:17～11:21	石川	石川県立七尾高等学校	SSC	降雨による電波強度の減衰を利用した降水量予測
PA21	11:23～11:27	福島	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部化学班	アラニナト銅水溶液中に生じた赤色薄膜の物質同定 と生成過程の解明
PA22	11:29～11:33	大分	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	液滴が作る信号反応層による溶存酸素量の測定
諸連絡（11:33～11:38）					

ポスター発表 B会場（学生会館3階）

I 日目 令和6年8月3日(土)

13:00～	審査委員紹介・諸注意
13:15～	準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PB01	13:25～13:33	千葉	千葉市立千葉高等学校	生物部	アズキノウムシは高度に産卵基質を選択する
PB02	13:35～13:43	愛知	愛知県立時習館高等学校	SSH生物部	ニホンウナギをさがせ！
PB03	13:45～13:53	香川	香川県立高瀬高等学校	生物部	蛍光チョークを用いた接触感染防止対策づくり
PB04	13:55～14:03	静岡	静岡県立清水東高等学校	自然科学部化学班	チタン陽極酸化での色の変化と酸化被膜形成の考察
PB05	14:05～14:13	宮城	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部化学班	白金箔における水素と酸素の反応の研究
PB06	14:15～14:23	鹿児島	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部 カブトムシ班	オキナワカブトとツノボソカブトは同種の別亜種で良いのか？
休憩（14:23～14:38）					
PB07	14:38～14:46	茨城	茨城県立緑岡高等学校	生物部	プラナリアの交替性転向反応についての研究
PB08	14:48～14:56	岐阜	岐阜県立斐太高等学校	自然科学部	霧海減少の謎～高山盆地の気象研究その5～
PB09	14:58～15:06	福岡	福岡県立小倉高等学校	生物部	進化の再現についての研究 ～LEGOブロックを使用した自然選択の再現～
PB10	15:08～15:16	山形	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパサイエンスクラブ	ガラスワール充填ポリプロピレン複合材料を用いた3D造形品の作製と物性評価
PB11	15:18～15:26	新潟	新潟県立十日町高等学校	生物部	妻有地域に生息するホトケドジョウの特徴
休憩（15:26～15:41）					
PB12	15:41～15:49	高知	土佐女子高等学校	生物部	光る菌はつくれるか？ ～多様な色素と菌の色～
PB13	15:51～15:59	滋賀	滋賀県立米原高等学校	地学部	地質が河川の水質に与える影響について
PB14	16:01～16:09	山口	山口県立徳山高等学校	科学部	カーボン系固体触媒でカーボンニュートラルの実現へ
PB15	16:11～16:19	長野	長野県上田高等学校	化学班	上水道と土壌 ～水源（原水）と土壌の働きを考察～
PB16	16:21～16:29	北海道	北海道旭川東高等学校	化学部	亜鉛メッキ時の色調の変化について
PB17	16:31～16:39	兵庫	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	イチゴによるアルミニウムの溶解
休憩（16:39～16:54）					
PB18	16:54～17:02	群馬	群馬県立太田女子高等学校	理科研究部	酵母を安価に増やしたい ～生ゴミのアップサイクルを目指して～
PB19	17:04～17:12	岐阜	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部化学班	幼児による吸水ボールの誤飲事故に対する開腹手術回避の方法の提案
PB20	17:14～14:22	神奈川	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	植物のパワーでヒルからみんなを守ろう！
PB21	17:24～17:32	佐賀	佐賀県立鳥栖高等学校	科学部	淡水魚のあくび
PB22	17:34～17:42	広島	広島県立祇園北高等学校	科学研究部	細菌による汚水浄化に関する研究 ～シカの糞が土壌細菌の汚水浄化能力に及ぼす影響
生徒交流発表【奇数番号発表】（17:42～17:57）					
入れ替え連絡（17:57～18:00）					
生徒交流発表【偶数番号発表】（18:00～18:15）					
諸連絡（18:15～18:20）					

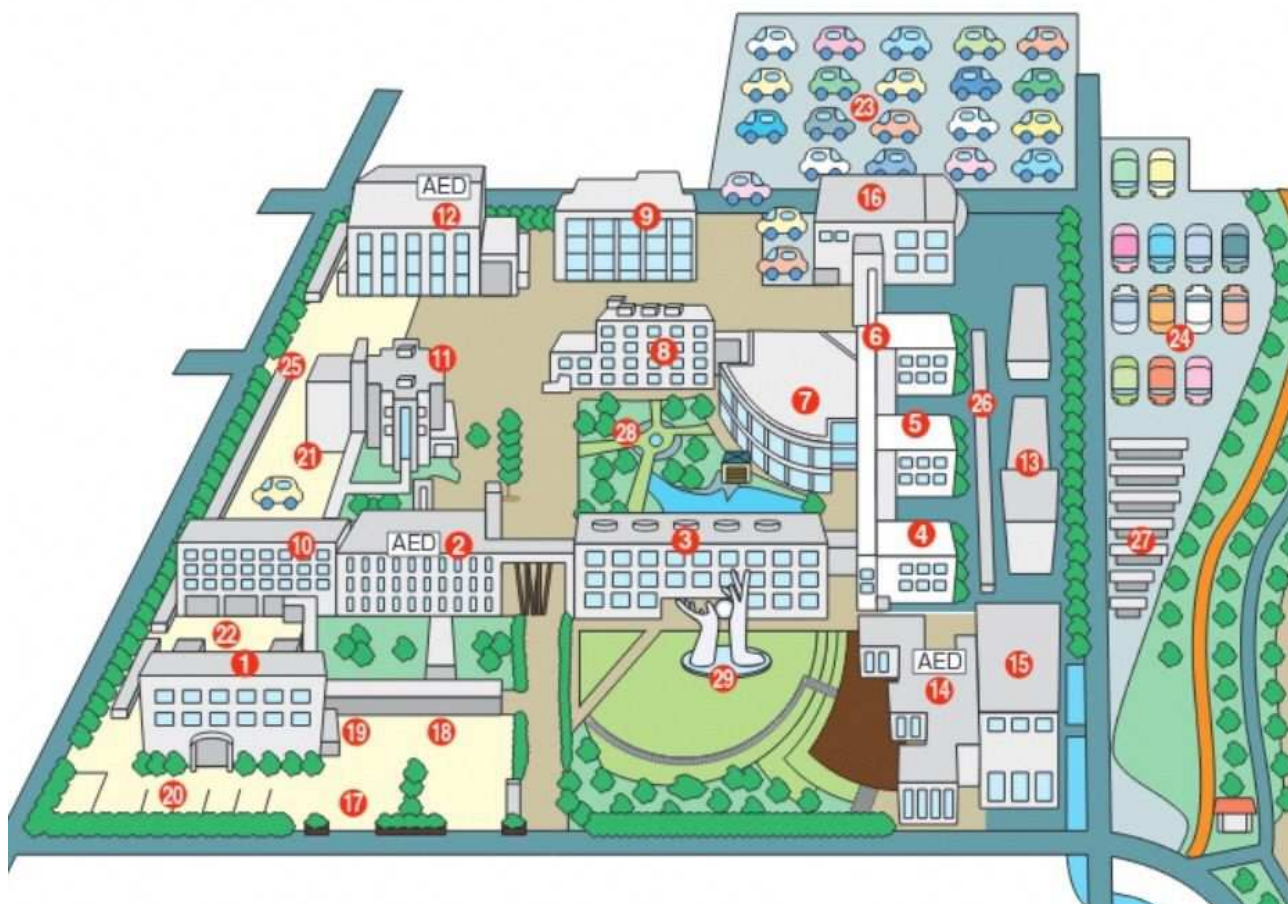
ポスター発表 B会場（学生会館3階）

2日目 令和6年8月4日(日)

～8:55	入室完了
9:00～	諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PB01	9:10～9:14	千葉	千葉市立千葉高等学校	生物部	アズキノウムシは高度に産卵基質を選択する
PB02	9:16～9:20	愛知	愛知県立時習館高等学校	SSH生物部	ニホンウナギをさがせ！
PB03	9:22～9:26	香川	香川県立高瀬高等学校	生物部	蛍光チョークを用いた接触感染防止対策づくり
PB04	9:28～9:32	静岡	静岡県立清水東高等学校	自然科学部化学班	チタン陽極酸化での色の変化と酸化被膜形成の考察
PB05	9:34～9:38	宮城	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部化学班	白金箔における水素と酸素の反応の研究
PB06	9:40～9:44	鹿児島	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部 カブトムシ班	オキナワカブトとツノボソカブトは同種の別亜種で良いのか？
PB07	9:46～9:50	茨城	茨城県立緑岡高等学校	生物部	プラナリアの交替性転向反応についての研究
PB08	9:52～9:56	岐阜	岐阜県立斐太高等学校	自然科学部	霧海減少の謎～高山盆地の気象研究その5～
PB09	9:58～10:02	福岡	福岡県立小倉高等学校	生物部	進化の再現についての研究 ～LEGOブロックを使用した自然選択の再現～
PB10	10:04～10:08	山形	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスパーサイエンスクラブ	ガラスワール充填ポリプロピレン複合材料を用いた3D造形品の作製と物性評価
PB11	10:10～10:14	新潟	新潟県立十日町高等学校	生物部	妻有地域に生息するホトケドジョウの特徴
PB12	10:16～10:20	高知	土佐女子高等学校	生物部	光る菌はつくれるか？ ～多様な色素と菌の色～
PB13	10:22～10:26	滋賀	滋賀県立米原高等学校	地学部	地質が河川の水质に与える影響について
PB14	10:28～10:32	山口	山口県立徳山高等学校	科学部	カーボン系固体触媒でカーボンニュートラルの実現へ
休憩（10:32～10:47）					
PB15	10:47～10:51	長野	長野県上田高等学校	化学班	上水道と土壌 ～水源（原水）と土壌の働きを考察～
PB16	10:53～10:57	北海道	北海道旭川東高等学校	化学部	亜鉛メッキ時の色調の変化について
PB17	10:59～11:03	兵庫	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	イチゴによるアルミニウムの溶解
PB18	11:05～11:09	群馬	群馬県立太田女子高等学校	理科研究部	酵母を安価に増やしたい～生ゴミのアップサイクルを目指して～
PB19	11:11～11:15	岐阜	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部化学班	幼児による吸水ボールの誤飲事故に対する開腹手術回避の方法の提案
PB20	11:17～11:21	神奈川	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	植物のパワーでヒルからみんなを守ろう！
PB21	11:23～11:27	佐賀	佐賀県立鳥栖高等学校	科学部	淡水魚のあくび
PB22	11:29～11:33	広島	広島県立祇園北高等学校	科学研究部	細菌による汚水浄化に関する研究 ～シカの糞が土壌細菌の汚水浄化能力に及ぼす影響～
諸連絡（11:33～11:38）					

会場図

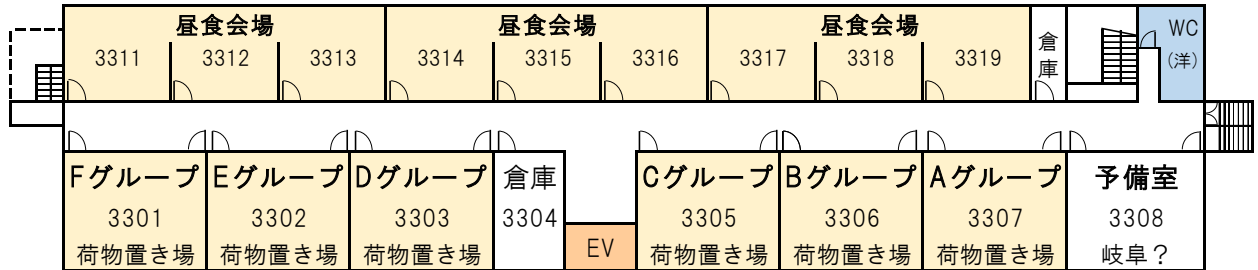


- ③ 3号館（受付、荷物置き場、控室等）
- ④ 4号館（研究発表会場）
- ⑤ 5号館（研究発表会場）
- ⑥ 6号館（研究発表会場）
- ⑦ 7号館 講堂（開会式、閉会式、生徒交流会）
- ⑧ 8号館（研究発表会場） ※ 3階より上は立入禁止です！
- ⑪ 図書館（1階身障者トイレ）
- ⑬ 学生会館（ポスター発表会場）
- ⑰ 正門
- ⑱ シャトルバス乗降場
- ⑲ 北側駐車場（巡検バス待機場所） ※ 8 / 4は東側半分駐車禁止です！
- ⑳ 駐車場
- ㉑ 駐車場
- ㉒ ハリヨパーク
- ㉓ 飛翔の掌

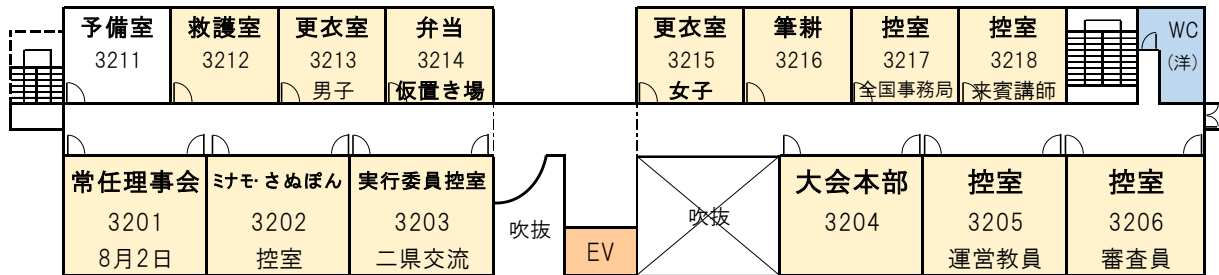
※ 会場周辺の道路は狭いので、歩行者に十分ご注意ください。また、近隣住民の迷惑にならないよう路上駐車は禁止です。

3号館

3F

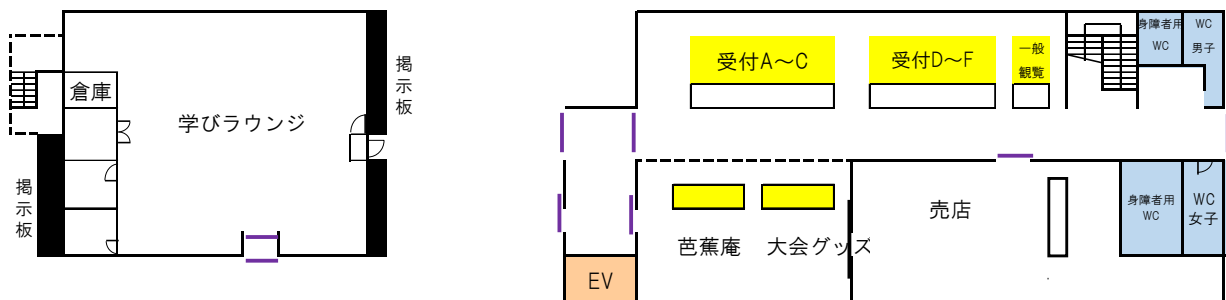


2F



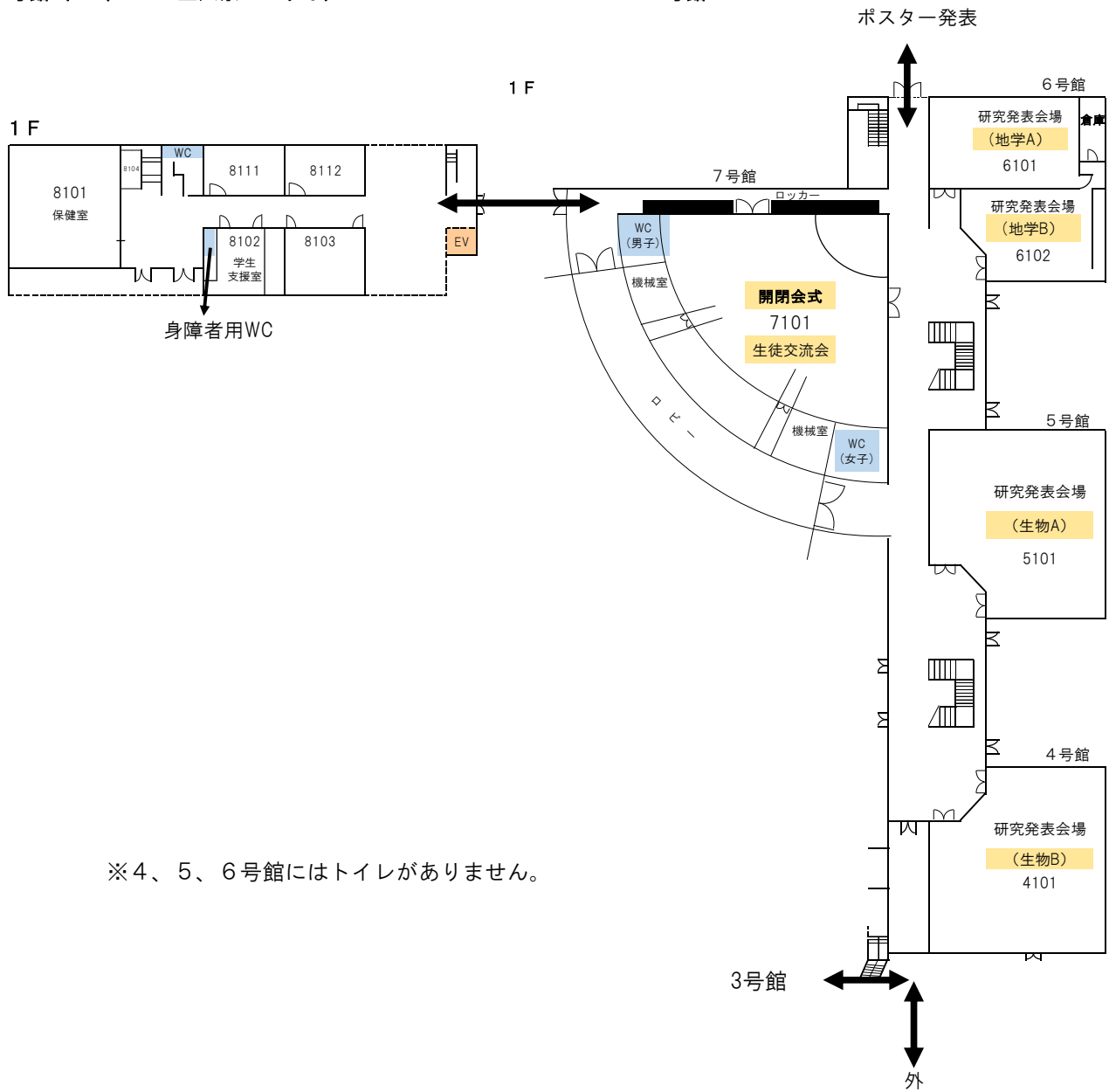
1F

トイレ・その他



8号館（3F、4Fは立入禁止です！）

4・5・6・7号館



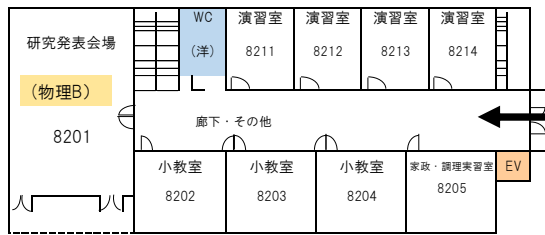
※4、5、6号館にはトイレがありません。

8号館 (3F、4Fは立入禁止です！)

4・5・6・7号館

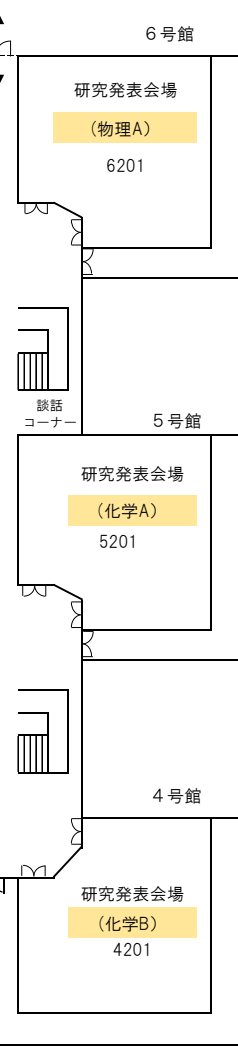
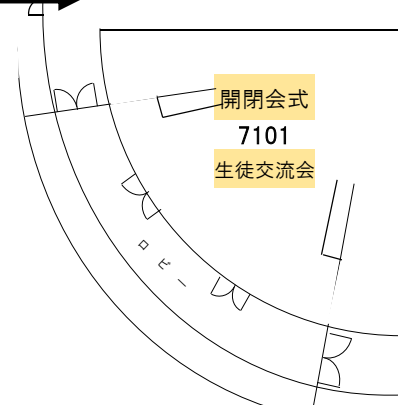
ポスター発表

2 F



2 F

7号館



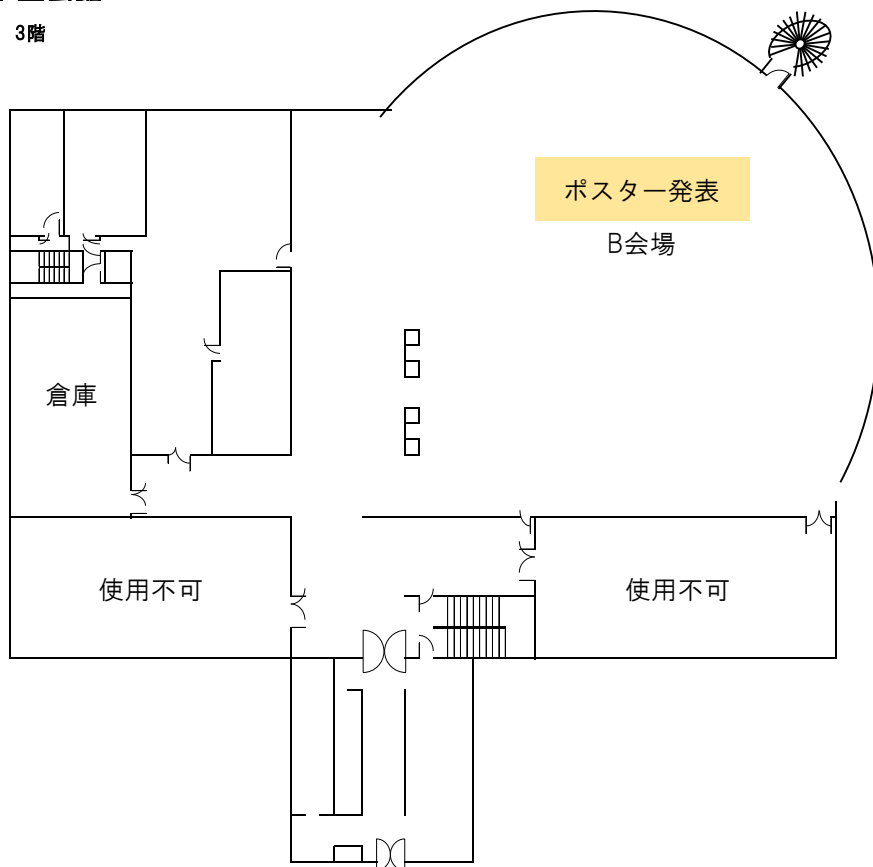
3号館

※4、5、6号館にはトイレがありません。

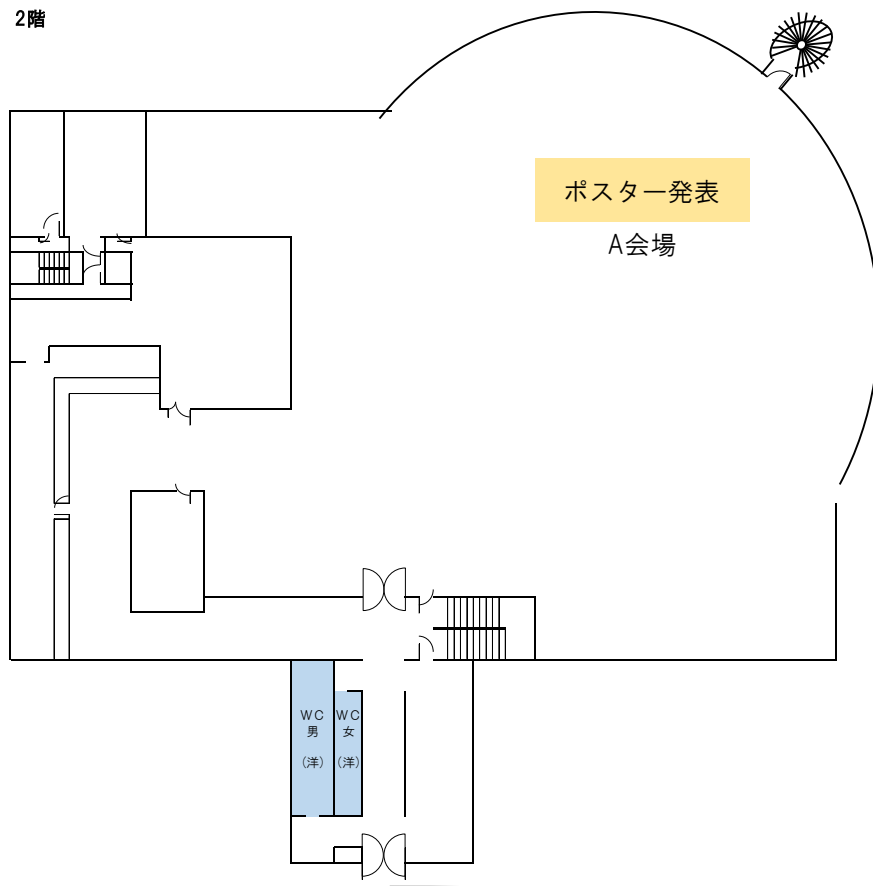
※学生会館との通路(2階)、3号館のトイレをご利用ください。

学生会館

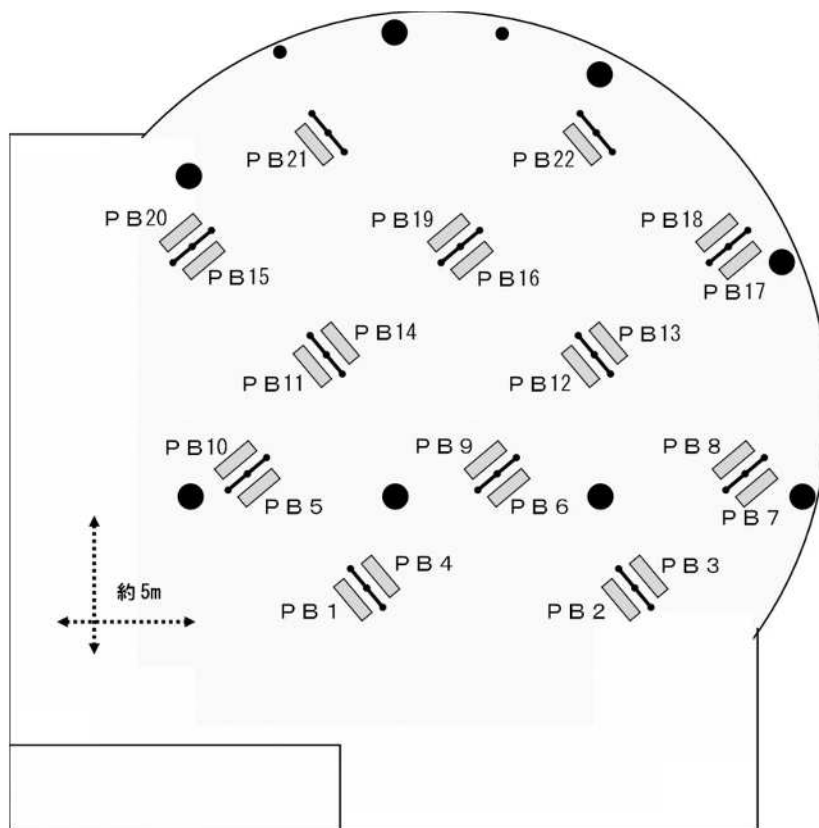
3階



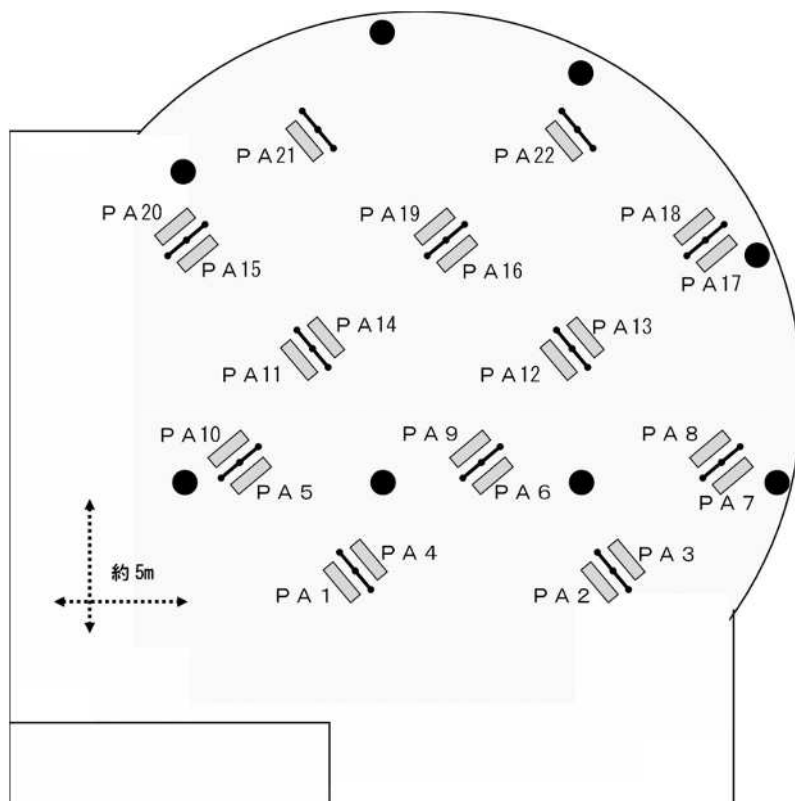
2階



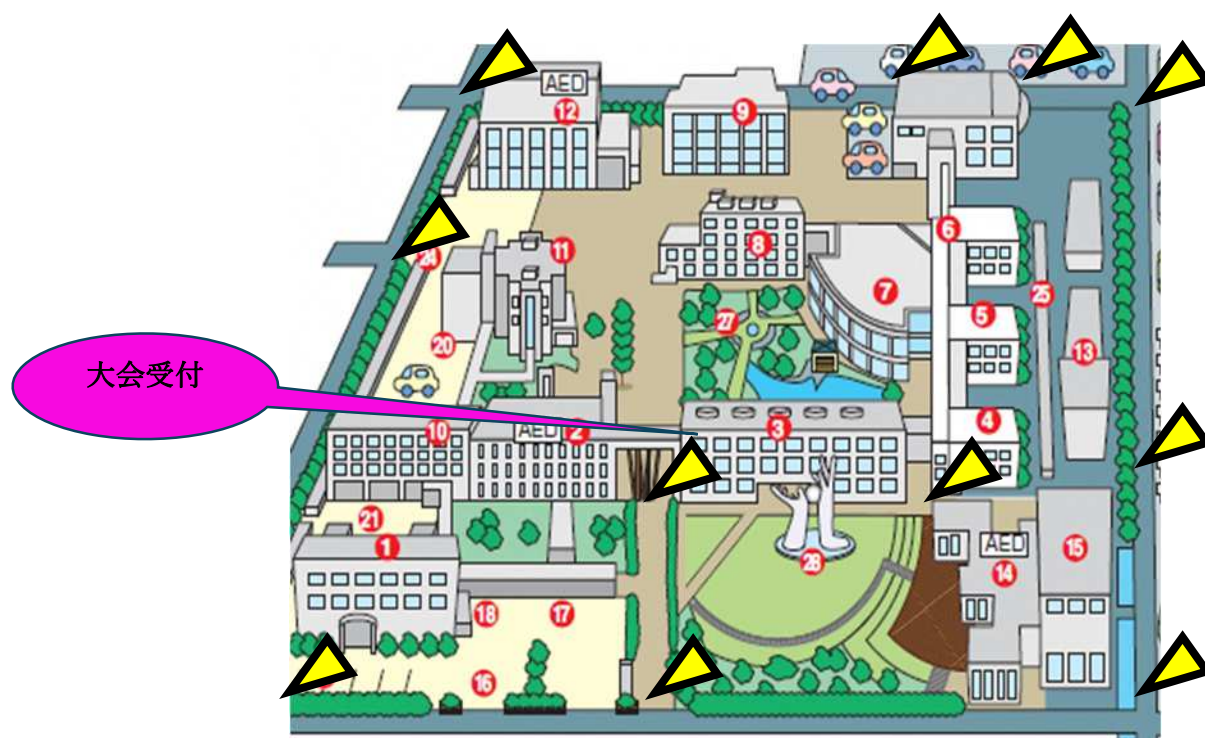
学生会館
3階 (B会場)



2階 (A会場)



誘導・案内配置図



問い合わせ先

	自然科学部門事務局	実行委員会事務局
所在地	〒500-8889 岐阜市大縄場 3-1	〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1
名称	岐阜県立岐阜高等学校内 第48回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門代表委員 棚橋 誉久	岐阜県環境生活部県民文化局 文化祭推進事務局 全国高等学校総文祭推進課内 第48回全国高等学校総合文化祭 岐阜県実行委員会事務局
連絡先	TEL 080-4866-3140 FAX 058-251-8151 E-mail shizenkagaku@gifu- bunkasai2024.govt.pref.gifu.jp	TEL 058-272-8257 FAX 058-278-2602 E-mail gifusoubun2024@govt.pref.gifu.jp
その他	大会公式ウェブサイトに情報を掲載しますので、定期的に御確認ください。 (https://gifu-bunkasai2024.pref.gifu.lg.jp/soubunsai/)	

緊急時の対応などについて（参加生徒・参加校の皆様へ）

I 大会参加にあたっての留意事項

1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- ① 大会参加時のマスクの着用は、個人の判断に委ねます。ただし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面等や症状がある場合等においては、マスクの着用を推奨します。
- ② 感染症の接触感染を避けるため、屋外から室内へ入る時、トイレの後や食事の前後など、こまめに手を洗い、手指衛生に努めてください。
- ③ 他者に飛沫を飛ばさないよう、咳・くしゃみをする時は、ティッシュ・ハンカチや袖・肘の内側などを使って、口や鼻を押さえ、咳エチケットを行ってください。
- ④ 夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- ⑤ 医療機関での受診費用は実行委員会で負担できません。
なお、健康保険証がない場合は、医療費全額が実費負担となる場合があります。

2 大会参加時のお願い

- ① 引率者は、感染症予防のため、最新の情報を確認の上、移動中や宿舎内等の大会会場外においても、適切な指導を行ってください。
【参考】文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2023.5.8～）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html
- ② 引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。※特にアレルギー、心臓疾患等の症状などまた、大会期間中は、朝食時等に参加生徒の健康観察を行ってください。
- ③ 体調不良（感染症の疑い等）がある場合は、直ちに引率者に相談し、医療機関を受診し、適切な対応をとってください。
- ④ 大会期間中に医療機関を受診した場合は、大会公式ウェブサイトの【[受診報告フォーム](#)】から必ず報告してください。
- ⑤ 救護所に内服薬は置いていません。日頃服用している常備薬を、必ず持参してください。

3 貴重品・手荷物は自己管理してください。

4 自然災害に備えましょう。

- ① 注意報、警報等の気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握してください。
- ② 災害時の安否確認
地震などの大きな災害発生時に、被災地等への安否確認のため、下記のサービスが利用できます。
詳しくは各電話会社に確認してください。
○災害用伝言板サービス（携帯電話） 携帯電話会社各社から提供されています。
○災害用伝言ダイヤル「171」（一般電話、公衆電話、携帯電話） NTT から提供されています。
URL : <https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

II 緊急時の情報収集

緊急時の大会開催については、大会公式ウェブサイトの「お知らせ」で情報を入手してください。
大会公式SNS（インスタグラム、X）でも緊急時の情報発信を行います。
あらかじめフォローをお願いいたします。



公式サイト



インスタグラム



X

III 開催計画変更時の対応

緊急時、当日の部門大会開催情報は随時更新されますので、大会公式ウェブサイトの「お知らせ」などにより、最新情報の入手に努めてください。

当日の部門大会開始時刻の繰り下げの場合	宿舎又は自宅にいる場合	・部門大会開催情報が更新されるまでは、原則として、宿舎又は自宅で待機してください。 ・警報などが解除され、当日の開催を決定した時点で、公式ウェブサイト等に掲載しますので、確認してください。
	移動中の場合	原則として、宿舎又は自宅に戻ってください。その際、移動中の状況により、引率者が、戻るか会場に向かうかを判断してください。
	会場にいる場合	部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会終了時刻の繰り上げが決定された場合		部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会が開催中止となった場合		特に連絡のない限り、宿舎又は自宅で待機してください。開催会場は、原則として、開場しません。

IV 体調不良者やけが人が発生した場合の対応

1 会場における救護

各会場には救護所を設置しています。体調不良やけがをした参加者等に対して応急処置を行います。
なお、医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を案内するほか、緊急を要する場合は、救急車の出動要請を行いますので、引率者は必ず同行してください。

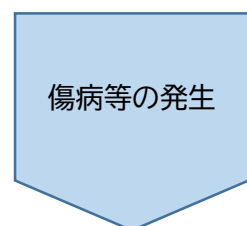
2 宿舎等での対応

宿舎等で傷病者が発生した場合、引率者は必要に応じ、救急車の出動要請や医療機関での受診等を行うようにしてください。いずれの場合も引率者は必ず同行してください。（次頁の「大会会場外における救護対応フローチャート」をご覧ください）

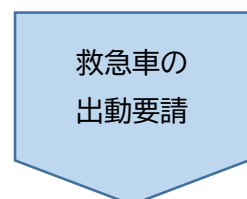
※軽度の傷病を除き、受診後は、大会公式ウェブサイトの【受診報告フォーム】から必ず報告してください。

3 大会会場外における救護対応フローチャート

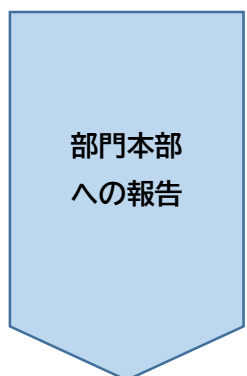
① 緊急を要する場合



宿舎等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。



症状が緊急を要すると判断した場合、引率者は、宿舎の協力を得て直ちに救急車の出動要請を行う。

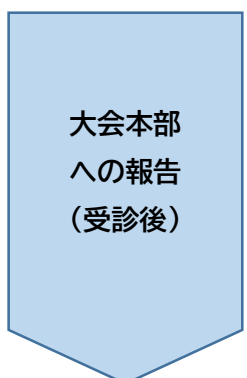


救急車の出動要請後、引率者は速やかに部門本部に報告する。
各部門の連絡先は公式ウェブサイトでご確認ください。



緊急連絡先

(大会開催 2 週間前を目途に公開予定)



引率者は、大会公式ウェブサイトの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会本部に報告する。



受診報告フォーム

(大会開催 2 週間前を目途に公開予定)

② 緊急を要しない場合

傷病等の発生

宿舎等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。

救急車要請の
判断

引率者は、救急車の出動要請を行うか判断する。

医療機関等の
確認

救急車の出動要請は必要ないと判断した場合、引率者は、宿舎の協力を得て、医療機関等を確認する。（下記を参照）
実際に受診する際は、事前に医療機関に受診の可否を確認する。

大会本部
への報告
(受診後)

引率者は、大会公式ウェブサイトの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会本部に報告する。



受診報告フォーム

(大会開催2週間前を目途に公開予定)

- 急な病気やケガをしたとき、救急車を呼んだほうがいいか、今すぐ病院に行った方がいいかなど、判断に迷ったときは

救急安心センターぎふ **# 7 1 1 9** (つながらないときは 058-265-0009)

- 今診てもらえる医療機関等を探すには、「ぎふ救急ネット」で検索
<https://www.qq.pref.gifu.lg.jp/>



V 不審者、不審物への対応

不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営スタッフにお知らせください。

身の安全を第一に考えて行動し、不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、危険を感じた場合は大声で助けを呼んでください。

また、不審物には触れないようにお願いします。

VI 緊急連絡先

大会期間中の各部門大会緊急連絡先は、公式ウェブサイトを確認してください。

第48回全国高等学校総合文化祭岐阜県実行委員会事務局
TEL：058-272-8257（大会本部）

清流の国ぎふ総文2024（第48回全国高等学校総合文化祭）における 個人情報の取扱いについて（参加者の皆さんへ）

清流の国ぎふ総文2024（第48回全国高等学校総合文化祭）への参加申込書を提出された方の個人情報については、次のとおり取扱うこととなりますので、御了承ください。

なお、この取扱いは、準備活動、練習、広報PR活動、開催日における運営等、関連行事のすべてが対象となります。

1 個人情報の内容

- (1) 参加者の氏名、学校名、学年、性別
- (2) 競技・審査結果
- (3) 参加者及び展示発表作品の写真、映像等

2 個人情報の利用目的

- (1) プログラム、部門作品集等への掲載
- (2) 実施要領、運営要領等への掲載
- (3) 展示キャプション等への掲載
- (4) 会場内アナウンス等
- (5) 大会公式ウェブサイト、大会公式SNS、記録集、記録DVD等記録関係資料への掲載
- (6) 報道機関等への提供（テレビ、ラジオ、ウェブサイト、新聞、雑誌等に写真や映像が使用されることがあります。）
- (7) 総文祭後催展、地方公共団体等への提供
- (8) Web開催及びオンライン配信実施時の放映（一部を変更して用いることがあります。）

3 個人情報の適正管理

取得した個人情報を前記に掲げる利用目的以外に使用することはありません。ただし、緊急の場合、医療機関等との間で個人情報を提供又は収集することがあります。

4 その他

- (1) 演奏、演技、展示、競技等の様子について、実行委員会事務局の許可を得た事業者が撮影を行うことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いについて御不明な点があれば、実行委員会事務局にお問い合わせください。

<問合せ先>

第48回全国高等学校総合文化祭岐阜県実行委員会事務局

（岐阜県環境生活部県民文化局文化祭推進事務局全国高等学校総文祭推進課内）

TEL：058-272-8257 E-mail：gifusoubun2024@govt.pref.gifu.jp